

教 養

住宅・土地統計調査（総務省）によると、我が国の空き家総数は平成 30 年時点で 849 万戸あり、この 20 年間で約 1.5 倍に増加している。

そのうち、別荘等の二次的利用、賃貸用又は売却用の住宅を除いた居住目的のない空き家は 349 万戸となっており、令和 12 年には 470 万戸まで増加することが見込まれている。

空き家は個人財産である一方、適切な管理がなされないまま放置されると防災、防犯、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を与えるため、個人の問題にとどまらず、社会全体の問題となっている。

国は、令和 3 年に「住生活基本計画（全国計画）」を策定し、空き家の状況に応じた適切な管理・除却・利活用を推進することや居住目的のない空き家を令和 12 年に 400 万戸程度まで抑えることなどを定め、空き家対策の充実・強化を進めている。

そこで、次の問いに答えなさい。

問 1 空き家対策を推進するにあたっての課題について、あなたの考えを述べなさい。

問 2 今後、空き家対策を推進するためには、社会全体としてどのような取り組みを行えばよいか、あなたの考えを述べなさい。

専 門

※ 問題は【問 20】まであります。

【問 15】～【問 17】に関しては著作権保護の理由により非公表となっているため、【問 20】の次に例題を掲載しています。

【問 1】

次の文の空欄①，②，③，④に当てはまる語句を答えよ。

エゴグラムは，バーン(Berne, E.)が創始した交流分析理論に基づいて，『 ① 』（批判的親），『 ② 』（養育的親），A（成人），『 ③ 』（自由な子ども），『 ④ 』（順応した子ども）の5つの自我状態を視覚的に把握できるようにしたものである。

【問 2】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

DSM-5における，「『 ① 』性パーソナリティ障害」とは，誇大性（空想または行動における），賛美されたい欲求，共感の欠如の広範な様式で，成人期早期までに始まり，種々の状況で明らかになるとされている。

【問 3】

次の文の空欄①，②に当てはまる語句を答えよ。

DSM-5における，「選択性『 ① 』」とは，他の状況で話しているにもかかわらず，話すことが期待されている特定の社会的状況において，話すことが一貫してできない，また，その障害の持続期間は，少なくとも『 ② 』であるとされている。

【問 4】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

『 ① 』は，ドイツの神経科医であったシュルツ(Schultz, J. H.)が体系化した心身の自己調整法で，リラクセーションを中心とした基本段階（標準練習），それぞれの心身の問題に応じた練習を行う公式による企図形成（特殊練習），イメージを通して内面の自己探求を行う上級段階（黙想練習）からなっている。

【問 5】

次の文の空欄①，②に当てはまる語句を答えよ。

記憶のプロセスは，「『 ① 』（情報を取り入れる段階）」，「『 ② 』（情報を蓄えておく段階）」，「想起（必要に応じて情報を取り出す段階）」の3段階で捉えられる。

【問 6】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

『 ① 』とは，ロッター(Rotter, J. B.)らが社会的学習理論のなかで提唱した性格特性の一つで，自分の行動に対する強化（結果）が自分の力でコントロールされているのか，それとも外的な力によってコントロールされているのかという認知様式である。

【問 7】

次の文の空欄①，②に当てはまる語句を答えよ。

学習心理学において，ある刺激に結びついた反応が，別の類似した刺激によっても生じることが『 ① 』と呼ばれる。逆に，異なる特徴をもつ複数の刺激のそれぞれに別の反応が対応して結びつくことを『 ② 』という。

【問 8】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

サリヴァン(Sullivan, H.)は、対象者の苦悩や葛藤に共感的理解などを示しながらも関わるといふ『 ① 』をしながら、対象者の表情や態度、状況を客観的に「観察」する態度のことを『 ① 』しながらの観察とした。

【問 9】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

「『 ① 』・グループ」とは、中学生(思春期前半)にみられる仲間関係のことをいう。共通の興味や関心を通じてつながっている仲良しグループで、互いの共通点や類似点を言葉で確かめ合う。女子によく見られる。

【問 10】

次の文の空欄①, ②に当てはまる語句を答えよ。

ピアジェ(Piaget, J.)による認知機能の発達段階のうち、『 ① 』段階は、2～6歳ころまでの時期で、この時期の特徴として、自己と他者・外界、すなわち主観と客観の未分化、自己の視点と他者の視点の区別ができない『 ② 』がある。

【問 11】

次の文の空欄①, ②に当てはまる語句を答えよ。

少年鑑別所は、『 ① 』の求めに応じ、鑑別対象者の鑑別を行うこと、観護の措置が執られて少年鑑別所に収容される者等に対し、健全な育成のための支援を含む観護処遇を行うこと、地域社会における非行及び犯罪の防止に関する援助を行うことを業務とする『 ② 』省所管の施設である。

【問 12】

次の文の空欄①, ②に当てはまる語句を答えよ。

『 ① 』少年とは、14歳に満たないで刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。

『 ① 』少年については、少年法よりも『 ② 』法が優先される。

【問 13】

次の文の空欄①, ②に当てはまる語句を答えよ。

「心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」によると、ストレスチェック制度は、特にメンタルヘルス不調の未然防止の段階である一次予防を強化するため、定期的に『 ① 』のストレスの状況について検査を行い、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気付きを促し、個々の『 ① 』のストレスを低減させるとともに、検査結果を集団ごとに集計・分析し、『 ② 』におけるストレス要因を評価し、『 ② 』環境の改善につなげることで、ストレスの要因そのものを低減するよう努めることを事業者に求めるものである。

【問 14】

次の文の空欄①に当てはまる語句を答えよ。

『 ① 』とは、自殺や自殺関連事象に関する正しい知識を普及したり、自殺の危険を示すサインに気づき、声を掛け、話を聞き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る役割を担う人材を指す。

【問 18】 簡記式

知能に関する理論における『流動性知能』について簡記せよ。

【問 19】 簡記式

性に関する概念である『性自認(gender identity)』と『性的指向(sexual orientation)』について簡記せよ。

【問 20】 簡記式

『生物—心理—社会モデル』について簡記せよ。

フラッシュバルブメモリに関する記述として妥当なのはどれか。

1. 適切な時期に自発的にタイミングよく、目的の行為を想起するような認知処理が必要とされる、未来に行うことを意図した行為の記憶である。
2. 視覚刺激がごく短時間提示されると、提示終了後もその刺激のイメージが実際にまだ提示されているかのように感じる現象である。
3. 過去のある瞬間に知覚していた対象が、明瞭に再現され、あたかも実際にその対象を知覚していると感じるような心的イメージ像であり、その像を眼で走査したり、組み立てたり操作することができる。
4. 種々の認知課題遂行中に一時的に必要な情報の保持や、そうした働きを支えるシステムである。
5. 衝撃的な出来事を初めて見聞きしたときの状況について、鮮明かつ詳細に想起される記憶である。

次のうち推論の種類の一つである演繹的推論の例として妥当なのはどれか。

1. Aさんは、初めて訪れる国で、数人の陽気な人と話をして、「この国の人は陽気だ」と推論した。
2. B高校新聞部では、ランダムに選んだ50人の生徒に取材して得た情報をもとにして、生徒会長候補者の当落を推論した。
3. ある幼児が「おなかがすくと元気がなくなった」という経験から、「植物に水をあげないと枯れる」と推論した。
4. Cさんは「鉄は電気を通す」という法則を知っており、ある物体Xが鉄であることを知ると「物体Xは電気を通す」と推論した。
5. ある小学生が、生活経験で得た水圧と水流の関係に関する知識から、電圧と電流の関係について推論した。

セルフ・サービング・バイアスに関する例として最も妥当なのはどれか。

1. Aさんは、期末試験に失敗した際、自分が努力しなかったにもかかわらず、失敗の原因を試験問題が必要以上に難しかったためだと考えた。
2. Bさんは、友人のCさんがやむを得ない事情で遅刻したにもかかわらず、Cさんが時間にだらしないためだと考えた。
3. Dさんは、タレントのEさんが単に役柄で医者を演じているだけなのに、Eさんの知性を高く評価するようになった。
4. Fさんは、スポーツ選手のGさんのファンである。Gさんのファンは実際はそれほど多くはないが、Fさんは周囲の大多数の人もGさんのファンだと思っている。
5. Hさんは、今日のスピーチでミスをするのではないかと気にしていたら、やはり重要なポイントを言い忘れてしまった。

論述問題

次の事例を読んで、①初回面接での留意点や把握すべき内容、②見立て、③その後の対応、の3点について、あなたの考えをそれぞれ述べよ。

(事例)

少年の母親から「中学1年生の長男が、家のお金を持ち出したり、勝手に父親のクレジットカードを使っていたことが分かりました。使い道は、スマートフォンのゲームに使ったり、学校の友達におごったりもしていたようです。最近では、夜中までゲームをするので、私がスマートフォンを取り上げるのですが、そうすると反抗して暴言を吐いたり暴力を振るったりします。そして、朝も起きられなくなり、学校を遅刻したり休んだりすることもあります。どうしたらいいのでしょうか。」という相談を受け、その母親と少年に対して面接を行うこととなった。

少年についての情報

- ・ 家族は、両親、少年、幼稚園児の弟の4人
- ・ 面接時、少年は「学校も家も面白くない。ゲームしかすることがない。」と口数少なく、うつむくばかりであった。